

第4回「しがwebアンケート調査」

(新型コロナウイルス感染症対策振り返り)の結果について

1. 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和2年8月25日(火)～ 8月28日(金)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3. 調査項目

- (1) 「新型コロナウイルス感染症対策」について(防災危機管理局、広報課)

4. 主な調査結果

(1)「新型コロナウイルス感染症対策」について

Q1 滋賀県では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月16日～5月31日まで外出の自粛をお願いしていました。この間、外出を自粛していましたか。(いくつでも)

- 1 位:不要不急の外出以外自粛していた 64.6%
- 2 位:例年と比べて外出は減った 39.2%
- 3 位:府県をまったく移動は自粛していた 37.6%

となっており、外出自粛を意識した人が多い。

・男女別で見ると、「不要不急の外出は自粛していた」「府県をまったく移動は自粛していた」において女性の割合が高く、「特に意識していなかった」においては女性の割合が低いことから、感染防止対策への女性の意識の高さが窺える。

・年代別で見ると、65 歳以上の世代で「不要不急の外出は自粛していた」が 75.9%と高くなっている。

Q2 現在は、外出についてどのようにお考えですか？(いくつでも)

- 1 位:できるだけ外出は控えるようにしている 55.2%
- 2 位:感染予防対策を実施して外出をするようにしている 46.6%
- 3 位:例年と比べて外出は減っている 39.2%

となっており、現在も約半数の方は外出を控えるようにしていることがわかる。

・男女別で見ると、「できるだけ外出は控えるようにしている」「感染予防対策を実施して外出をするようにしている」において女性の割合が高く、「特に意識していない」においては女性の割合が低いことから、感染防止対策への女性の意識の高さが窺える。

・年代別で見ると、65 歳以上の世代で「できるだけ外出は控えるようにしている」が 71.5%と高くなっている。

Q3 次のうち知っているものを全てお選びください。(いくつでも)

- 1 位:どれも聞いたことがない 43.6%
- 2 位:滋賀 1/5 ルール 41.2%

3位: 滋賀らしい生活三方よし 24.2%

となっており、「どれも聞いたことがない」が最も多くなっていることから、それぞれの取組の周知をより一層はかっていく必要がある。

・年代別で見ると、35歳から49歳の世代で「どれも聞いたことがない」51.2%と高くなっている。

Q4 あなたが感染防止に特に気を付けていることを全てお選びください。(いくつでも)

1位: マスクの着用 89.8%

2位: 手洗いやアルコール消毒 86.6%

3位: 他人との距離をあける 61.8%

・感染防止に特に気を付けていることは、「マスクの着用」、「手洗いやアルコール消毒」については8割以上の方が対応されている。次いで順に「他人との距離を開ける」61.8%「外出を極力控える」51.8%で、この2項目は5割以上の方が気を付けている。

・男女別で見ると、「その他」を除くすべての項目で男性と比べて女性の割合が高く、感染防止対策への女性の意識の高さが窺える。

・年代別で見ると、ほとんどの項目で年代間の差違はみられないが、18歳から34歳の世代で「手すりやドアノブに触れた手で目や鼻、口などを触らない」、「定期的な体温測定」、「よく触れるものの消毒や洗浄」など5つの項目で、他の年代に比べて低い結果となっている。

Q5 密集した配席になっていないかなど、感染防止対策を実施している店舗や施設を利用するようにしていますか。(ひとつだけ)

1位: 可能であれば利用するようにしている 54.0%

2位: 特に気にしていない 25.4%

3位: 積極的に利用するようにしている 20.6%

となっており、「可能であれば利用するようにしている」「積極的に利用するようにしている」とあわせて74.6%であることから、多くの方が、感染防止対策を実施している店舗や施設を利用するよう意識していることが窺える。

・男女別で見ると、男性は「可能であれば利用するようにしている」「積極的に利用するようにしている」とあわせて67.2%、女性は「可能であれば利用するようにしている」「積極的に利用するようにしている」とあわせて82%となっており、こちらについても感染防止対策への女性の意識の高さが窺える。

Q6 感染予防対策を実施している店舗や施設に「感染予防対策実施宣言書」を掲示していただく取組を推進しています。この「感染予防対策実施宣言書」を掲示している店舗や施設の利用についてどのようにお考えですか。(ひとつだけ)

1位: 利用の参考にしたい 59.6%

2位: 特に気にしていない 22.0%

3位: 積極的に利用するようにしたい 18.4%

となっており、「利用の参考にしたい」「積極的に利用するようにしたい」とあわせて74.6%であることから、多くの方が、感染予防対策を実施している、店舗や施設を利用したいと考えていることが窺える。

・男女別で見ると、男性は「利用の参考にしたい」「積極的に利用するようにしたい」をあわせて、70.0%、女性は、「利用の参考にしたい」「積極的に利用するようにしたい」をあわせて、86.0%となっており、こちらについても感染症防止対策への女性の意識の高さが窺える。

・年代別に、「利用の参考にしたい」「積極的に利用するようにしたい」の合計を見ると、18~34歳が69.2%、35~49歳が74.4%、50~64歳が79.1%、65歳以上が86.1%と、年代が上がるに伴い、感染予防対策を実施している、店舗や施設を利用したいと考えていることが窺える。

Q7 「もしサポ滋賀」のQRコードを利用したことがありますか。(ひとつだけ)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 位:知らない | 73.6% |
| 2 位:知っているが利用したことはない | 22.0% |
| 3 位:利用したことがある | 4.4% |

となっており、「もしサポ滋賀」を認知していない人の割合が多い。今後も、継続して「もしサポ滋賀」の周知・普及が必要と考えられる。

・年代別に、「知らない」と答えた方を見ると、50～64歳が73.6%、65歳以上が65.8%である一方、18～34歳が78.5%、35～49歳が79.2%であり、低い年代の方が、「知らない」方が多くなっている。

※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Q8 LINE公式アカウント「滋賀県－新型コロナ対策パーソナルサポート」を「友だち登録」していますか？(ひとつだけ)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 登録している | 15.4% |
| 2 これから登録したい | 15.4% |
| 3 他で情報を入手するので登録していない | 27.6% |
| 4 興味がないので登録していない | 41.6% |

・LINE公式アカウントへの「友だち登録」について、「登録している」15.4%と「これから登録したい」15.4%を合わせると約3割の方が登録に前向きである。また、一方で興味がない方も4割以上おられる。

Q9 次のうち登録しているものを全てお選びください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1 位:登録しているものは一つもない | 68.4% |
| 2 位:LINE「滋賀県公式」 | 14.2% |
| 3 位:厚生労働省接触確認アプリ「COCOA」 | 13.8% |

・すでに登録されているものをお聞きしたが、6つの選択肢のうち一つも登録されていない方が7割近くおられた。

・登録しているもので最も多かったのが「LINE『滋賀県公式』」14.2%で、次いで「厚生労働省接触確認アプリ『COCOA』」13.8%であった。

・年代別でみると上位の2つは年代が上がるにつれ増えているが、「Twitter『うおーたん』」の登録者は若い世代に集中している。

Q10 新型コロナウイルス感染症に関する情報を入手するために滋賀県ホームページを利用しますか？(ひとつだけ)

- | | |
|-------------|-------|
| 1 よく利用する | 15.4% |
| 2 たまに利用する | 29.6% |
| 3 ほとんど利用しない | 23.4% |
| 4 利用しない | 31.6% |

・感染症情報の入手について県HPの利用状況をお聞きしたところ、「よく利用する」15.4%「たまに利用する」29.6%を合わせると、45%の方が利用されている。

・年代別でみると65歳以上の世代で利用する方が5割を超えており、信頼度が高いことがわかる。